

## 事業評価調書（新規）

部課室名	農 林 水 産 部 農 林 水 産 局 農 地 整 備 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 松 浦 猛 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------------------	---------------------	-------------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	4.6億円
		基盤整備促進事業 【元気な地域づくり交付金】	八幡	内用地補償費	0.20億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
南あわじ市八幡			H18	H18	H22
事業目的			事業内容		
<p>農地の区画及び道水路整備を行い、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進する。</p> <p style="text-align: center;">事業主体：南あわじ市</p>			<p>区画整理 17.6ha</p> <p>工事費の負担割合 [国50% 県21% 市24% 地元 5%]</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>当地区は水稻のほかタマネギ、レタス等を盛んに生産しているが、現況の農地は不整形な小区画で、道路幅員も狭小であるため、営農効率が悪く、農業従事者にとって多大な労力が負担となっている。</p> <p>本事業の実施により、機械体系・水管理の合理化を促進し、効率的・安定的な農業経営を行う必要がある。</p>			
(2)有効性・効率性		<p>費用便益比 B/C = 1.41 所得償還率 5.9% であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率 100% (58戸 / 58戸)</p>			
(3)環境適合性		<p>工事で発生したコンクリート殻は、農道の路盤材としてリサイクルする。 小動物の生息域保護のため、生態系に配慮した水路を整備する。</p>			
(4)優先性		<p>当地区は、水稻、飼料作物のみならず、国が産地指定する玉ねぎ、レタス、白菜、キャベツの生産も行っており、食料の安定供給に大きく貢献している地域である。</p> <p>県内ほ場整備率75%に対して、地域の整備率が31% (旧南淡町)と極めて低く、地域全体の生産基盤の整備が急務である。</p>			